

Hondaのクルマづくりの進化とともに45年。シビックのあゆみ

1972年～



初代シビック

世界のベーシックカーとしてFF2ボックスという新しい市場を開拓。省資源・低公害にいち早く対応。

- 72/73/74年 オブ・ザ・イヤー 3年連続第1位 (日本・モーターファン誌)
- 73年ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤー 日本車初入賞 (第3位)

1973年 ●ホンダマチック (スターレンジ)
●CVCCエンジン
1974年 ●ESV

1979年～



2代目スーパーシビック

後続他車が登場するなか、「FFリーダーカー」としてFF2ボックス市場を確立。

- 79年 オブ・ザ・イヤー、ポピュラーカー部門第1位 (日本・モーターファン誌)
- 80年 米国インポートカー・オブ・ザ・イヤー 第1位 (米・モータートレンド誌)
- 米国自動車クラブ米国大陸横断燃費テスト輸入車部門第1位

1980年 ●CVCC-IIエンジン

1983年～



3代目ワンダーシビック

個性明快の3ドア・4ドア・5ドアフォーメーション。FF2ボックスの新展開を図る。

- 83～84年 日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞
- 昭和59年度グッドデザイン大賞受賞
- 86年 米国お客様満足度調査で満足度ベストモデル およびベーシックスマールカー部門第1位

1983年 ●クロスフローエンジン
1984年 ●DOHC16バルブエンジン
1986年 ●ビスカスカップリング式リアルタイム4WD

1987年～



4代目グランドシビック

ヒューマン・フィッティング・テクノロジーによるさらなる熟成を重ね、FF2ボックス市場に確固たる地位を確立。

- 88年 米国お客様満足度調査でベーシックスマールカー部門第1位
- クオリティ・89の信頼性調査クラス第1位 (仏・オートモビル誌)

1987年 ●ハイパー 16バルブエンジン
●4輪ダブルウィッシュボーンサスペンション
1989年 ●DOHC VTECエンジン

1991年～



5代目スポーツシビック

新発想スペース・デザイン・コンセプトと新VTECフォーメーションで、世界の若者に向けた「ニューベンチマーク・カー」を創造。

- 91～92年 日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞

1991年 ●VTEC-Eエンジン

1995年～



6代目ミラクルシビック

これからのワールドカーが持つべき価値を問い直し、世界性能を提案。3ステージVTEC+ホンダマルチマチックが新しい走り創造。

- 95～96年 日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞

1995年 ●3ステージVTEC+ホンダマルチマチック

2000年～



7代目スマートシビック

世界ニーズにフレキシブルに対応するプラットフォームを開発。革新パッケージングテクノロジーによる、スマートコンパクトを創造。2001年シビックハイブリッド登場。

- 00～01年 日本カー・オブ・ザ・イヤー受賞
- 2001年 次RJCカーオブザイヤー受賞

2000年 ●グローバル・コンパクトプラットフォーム
●VTECクリーンバーンエンジン
●Gコントロール技術
2001年 ●新Honda IMAシステム

2005年～



8代目シビック

より上質で快適なミドルクラスのグローバルカーへと成長。3ナンバーサイズ、1.8Lに進化し、走行性能と環境性能を高次元で両立。2006年に2.0Lを追加設定。

2005年 ●i-VTECエンジン
●3ステージi-VTEC+IMA

2011年～



9代目シビック

北米を中心とするセダンを販売開始。2012年、欧州を中心とするハッチバックを販売開始。2015年、TYPE Rを英国で生産し、日本でも台数限定で販売。

2015年 ●2.0L VTEC TURBO エンジン (TYPE R)

2017年～



10代目シビック

プラットフォームを刷新し、ロー&ワイドなスタイル、VTEC TURBOの力強さ、優れたダイナミック性能で世界のCセグメントをリードする走り追求。北米で2015年にセダンを、2016年にハッチバックを販売開始。日本では2017年よりセダン、ハッチバック、TYPE Rを販売。

- 2016年 北米カー・オブ・ザ・イヤー受賞

2015年 ●1.5L VTEC TURBO エンジン
2015年 ●Honda SENSING